

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日
月日	/				
経過	入院日（手術前）				
達成目標	家族と一緒に以下のことを確認しましょう。 手術の物品を準備しましょう。 手術の説明を受け、不明な点があれば確認しましょう。 入院中の規制について理解しましょう。 転倒・転落に注意しましょう。				
治療	入院後、点滴が開始となります。				
薬	<ul style="list-style-type: none"> 持参のお薬を預かり、継続して内服するかを医師に確認します。 手術前に医師の指示で内服薬がある場合はお伝えします。 				
検査	入院直後は特にありません。				
処置	<ul style="list-style-type: none"> 手術室に行く前に浴衣に着替え、弾性ストッキング（静脈血栓予防用の靴下）をはきます。 手術室に行く前にトイレを済ませておきましょう。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術前の移動は車椅子又はベッドになります。 トイレに行く際には看護師を呼びましょう。 				
活動	手術前の安静度は車椅子かベッドになります。				
食事	入院後、手術まで飲んだり食べたりできません。				
清潔	必要時、体拭きをします。				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 主治医から病状や手術に関する説明があります。 入院生活、手術後の処置や経過、手術に必要な物品、転倒予防について説明します。 貴重品はご家族でお持ち帰り頂くか、金庫に保管して下さい。 				
必要物品	浴衣（前開きのもの）1枚、バスタオル1枚、T字帯1枚、手術日に使用しますので準備して下さい。看護師が預かります。 弾性ストッキングは病院でお渡しします。				



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.2)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/				
経過	手術後				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安静の必要性について理解し、安静を守りましょう。 ・傷の痛みのある時や気分が悪い場合は看護師に伝えましょう。 ・頭の管が抜けないように気をつけましょう。 				
治療	抗生剤・止血剤の点滴があります。				
薬	特にありません。				
検査	特にありません。				
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・頭に血液を排出する管が入っています。管は落ちないように寝衣にクリップで止め、ベッドの上に置きます。 ・胸に心電図モニター、指先に血液中の酸素濃度を図るモニターを装着します。 				
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 ・お部屋に戻ってきてから4時間は、一時間毎に体温・血圧・脈拍の測定をします。 ・頭痛、吐き気の有無を確認します。 				
排泄	術後のトイレはベッド上で行います。 看護師を呼んで下さい。				
活動	術後は、ベッドで仰向けの姿勢で安静になります。 頭に管が入っている間は、頭をベッドから起こすことができません。 ベッドを30度あげることは可能なので、看護師が調整いたします。 ベッドアップをしたい場合には、看護師を呼んで下さい。				
食事	食べたり飲んだりできません。				
清潔	うがいは可能です。 看護師がお手伝いしますのでナースコールで呼んで下さい。				
説明指導	医師より手術中の経過についての説明があります。				



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/				
経過	手術後 1 日目				
達成目標	頭の痛みがある時や気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 看護師と一緒にベッドから体を起こしましょう。 傷口からの出血に気がついたら看護師に伝えましょう。				
治療	食事量に応じて点滴を減らしていきます。 また抗生剤の点滴を一日 2 回行います。				
薬	もともと飲んでいたお薬に加え、治療の為のお薬が新しく内服開始となります。				
検査	朝、採血を行います レントゲンと CT 検査があります。 CT の結果に応じて、心電図モニターを外します。				
処置	創部の消毒をします。 CT の結果に応じて、頭の管（ドレーン）を抜きます。				
観察	創部の出血、疼痛の有無を確認します。 意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 頭痛、吐き気の有無を観察します。 排泄の性状と量を観察します。 血圧、体温、脈拍の測定を 1 日 4 回行います。				
排泄	医師の指示があるまでは、ベッド上で便器又は尿器を使って行います。 検査にて異常がなかった場合、トイレは車椅子となります。 尿量測定があります。				
活動	CT 検査後、医師の指示があるまでは、ベッドから頭を起こせません。 異常がなかった場合、車椅子または、状況によっては、発症前の活動を目指した運動を試みます。				
食事	CT 検査後、CT の結果に応じて昼からお食事（お粥）が開始になります。 食事前に看護師にて飲水テストを実施します。				
清潔	看護師の介助のもと洗面や体拭き、着替え等を行います。				
説明指導	頭の管が抜けない様にしましょう。ベッドから排泄の袋が落ちないようにしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの柵に管が引っかからないように気を付けましょう。 ・向きを変える時、管が引っ張られないように気を付けましょう。 ・ベッドを起こしたり、トイレに行けるようになりますが、管が入っている間は、ベッドから頭を起こす時は、管を塞ぐ必要があるため必ず看護師を呼びましょう。 				

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後 2 日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 看護師介助のもと活動量を増やしましょう。 傷口の痛みがある時や気分が悪い時は、看護師に伝えましょう。
治療	食事量に応じて点滴を減らしていきます。 また抗生剤の点滴を一日 2 回行います。
薬	内服を継続します。 
検査	特にありません。
処置	創部の処置をします。 CTの結果に応じて、前日に頭の管（ドレーン）が抜けなかったら抜きます。
観察	創部の出血、疼痛の有無を確認します。 意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 頭痛、吐き気の有無を観察します。 排液の性状と量を観察します。 血圧、体温、脈拍の測定を 1 日 3 回行います。
排泄	トイレで排泄できます。 尿量測定があります。
活動	発症前の活動を目指した運動を試みます。
食事	希望でお粥からご飯へ、食事内容を変更することができます。
清潔	看護師の介助のもと洗面や体拭き、着替え等を行います。
説明指導	頭の管が抜けないようにしましょう。 ベッドから排液の袋が落ちないようにしましょう。 ベッドを起こしたり、トイレに行けるようになりますが、管が入っている間は、ベッドから頭を起こす時は、管を塞ぐ必要があるため必ず看護師を呼びましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

日本医科大学付属病院 2022 年 1 月作成

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.5)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後3日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口の痛みや出血に気が付いた時や、気分が悪い場合には看護師に伝えましょう ・傷口は触らないようにしましょう。 ・転倒・転落予防について理解し、病棟内を歩行しリハビリしましょう。 ・内服について理解しましょう。
治療	抗生剤の点滴を行います。 水分バランスを考えて点滴を行う場合があります。
薬	問題がなければ通常どおり内服することができます。 
検査	特にありません。
処置	傷口の状態に応じて、必要時処置を行います。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・創部の出血、疼痛の有無を確認します。 ・意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 ・頭痛、吐き気の有無を観察します。 ・血圧、体温、脈拍の測定を1日3回行います。
排泄	トイレで排泄できます。尿量測定があります。
活動	状況によっては、立位、歩行訓練などを行い、発症前の活動を目指した運動を試みます。リハビリテーション・転倒・転落予防運動を開始していきます。
食事	希望でお粥からご飯へ、食事内容を変更することができます。
清潔	創部を濡らさないようにし、シャワー浴を行うことができます。 医師の指示のもと、処置前に頭部を洗うことができます。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.6)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後 4 日目
達成目標	退院後の生活について不明な点・不安な事があれば質問しましょう。 内服について理解しましょう。 病棟内を歩行しリハビリしましょう。 傷口の痛みや出血に気が付いたらすぐに看護師へ伝えましょう。
治療	水分バランスを考えて点滴を行う場合があります。
薬	痛みが強い場合は、痛み止めを使用します。
検査	朝、採血を行います。頭のCTを行います。
処置	頭部の状況をみて行います。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 創部の出血、疼痛の有無を確認します。 意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 頭痛、吐き気の有無を観察します。 血圧、体温、脈拍の測定を1日3回行います。
排泄	トイレで排泄できます。
活動	ふらつきが強い場合は看護師と共に歩きます。
食事	制限がありませんが、生活習慣病のある場合は医師の指示に従いましょう。
清潔	温タオルで体を拭くことができますまたは、創部を濡らさないようにし、シャワー浴を行うことができます。 医師の指示のもと、処置前に頭部を洗うことができます。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

日本医科大学付属病院 2022年1月作成

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.7)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		
経過	手術後5日目		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・内服について家族と一緒に理解しましょう。 ・病棟内を歩行しリハビリしましょう。 ・傷の痛みがある場合はすぐに看護師へ伝えましょう。 ・退院後の生活に不安があったら質問しましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。 		
治療	水分バランスを考えて点滴を行う場合があります。		
薬	内服薬を継続します。		
検査	特にありません。		
処置	傷口の状態に応じて、必要時処置を行います。		
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・創部の出血、疼痛の有無を確認します。 ・意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 ・頭痛、吐き気の有無を観察します。 ・血圧、体温、脈拍の測定を1日3回行います。 		
排泄	トイレで排泄できます。		
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・発症前の活動を目指した運動を試みます。 ・必要時、リハビリテーション・転倒・転落予防運動を実施します。 		
食事	制限がありませんが、生活習慣病のある場合は医師の指示に従いましょう。		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・創部を濡らさないようにし、シャワー浴を行うことができます。 ・医師の指示のもと、処置前に頭部を洗うことができます。 		
説明指導	内服薬の用法・用量について説明いたします。		

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.8)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		
経過	手術後6日目		
達成目標	内服について家族と一緒に理解しましょう。 病棟内を歩行しリハビリしましょう。 傷の痛みがある場合はすぐに看護師へ伝えましょう。 退院後の生活に不安があったら質問しましょう。 退院後の生活をイメージしましょう。		
治療	水分バランスを考えて点滴を行う場合があります。		
薬	内服薬を継続します。		
検査	特にありません。		
処置	傷口の状態に応じて、必要時処置を行います。		
観察	創部の出血、疼痛の有無を確認します。 意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 頭痛、吐き気の有無を観察します。 血圧、体温、脈拍の測定を1日3回行います。		
排泄	トイレで排泄できます。		
活動	発症前の活動を目指した運動を試みます。 必要時、リハビリテーション・転倒・転落予防運動を実施します。		
食事	制限がありませんが、生活習慣病のある場合は医師の指示に従いましょう。		
清潔	創部を濡らさないようにし、シャワー浴を行うことができます。 医師の指示のもと、処置前に頭部を洗うことができます。		
説明指導	内服薬の用法・用量について説明いたします。		

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.9)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後 7 日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活について説明を受け、理解しましょう。 退院後気を付けるべき症状を理解しましょう。 創部に異状がなく、退院後の創部の洗浄方法を習得しましょう。
治療	特にありません。
薬	内服薬を継続します。 
検査	朝、採血を行います。 頭のCTを行います。
処置	傷を消毒し、傷を止めている医療用のホチキスを取ります。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 創部の出血、疼痛の有無を確認します。 意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 頭痛、吐き気の有無を観察します。 血圧、体温、脈拍の測定を 1 日 3 回行います。
排泄	トイレで排泄できます。
活動	発症前の活動を目指した運動を試みます。
食事	制限がありませんが、生活習慣病のある場合は医師の指示に従いましょう。
清潔	シャワーにはいることができます。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

日本医科大学付属病院 2022 年 1 月作成

慢性硬膜下血腫除去術 患者さんパスシート (No.10)

氏名		診療科名	脳神経外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後8日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活について説明を受け、理解しましょう。 退院後気を付けるべき症状を理解しましょう。 創部に異状がなく、退院後の創部の洗浄方法を習得しましょう。
治療	特にありません。
薬	内服薬を継続します。 
検査	特にありません。
処置	特にありません。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 創部の出血、疼痛の有無を確認します。 意識の状態、瞳孔、手足の動きを観察します。 頭痛、吐き気の有無を観察します。 血圧、体温、脈拍の測定を1日3回行います。
排泄	トイレで排泄できます。
活動	歩くことができます。
食事	制限がありませんが、生活習慣病のある場合は医師の指示に従いましょう。
退院指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師から退院生活における注意点、退院処方・次回外来日についての説明を行います。 頭痛が続く場合は早めに救急外来を受診するか、外来を受診するようにしてください。 診断書等の書類については退院時に本館1階中央受付(Aブロック)に提出してください。(ただし文書受付窓口は日曜・祝日は受付できません)



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい

日本医科大学付属病院 2022年1月作成